



中塚 亮 議員 (共産)

### 3園目の認可保育園増設を 歓迎 来年4月に希望者み んなが入れるよう、さらに 増設を

①認可保育園についてア希望しながら入れない子どもをださないよう、緊急増設を。  
②緊急対策で0歳から2歳児は区の空き施設等を活用して分園を。③第一日野小学校跡は認可保育園等住民要望に沿った利用への変更を。④私立認可保育園の3園開設と、そのほかの開設への働きかけの方針等は。⑤認可保育園の増設を民間任せにせず、区も増設へ方向転換し作るべきでは。⑥なぜ入園申し込みを年度でご破算にし、再申し込みをさせるのか。⑦平成22年4月に入園できなかった人の内訳は、子ども未来事業部長

的に支援する。③私立保育園の役割は重要であり、今後も開設を支援していく。④申請は申請日時点の意思の確認であり品川区の規定は特別ではない。⑤常勤が105人、パートが94人、自営業が45人などだ。

#### 特養ホーム増設の請願採択を受け、品川区は小規模でも必要数を早くつくれ

①杜松小学校跡での特別養護老人ホーム完成前に小規模でも必要数の増設を。②土地確保についてア広さは。③何か所探しているのか。④検討を約束した小規模特養ホームの⑤敷地面積は。⑥何か所作るのか。⑦TOCCへの第一日野小学校跡の貸し出しはやめ、住民要望こそ優先すべきでは。健康福祉事業部長 ①ひとり暮らし高齢者が増えていることを踏まえ、一定の整備を検討していく。②ア2千㎡程度と判断している。③整備数は適地の確保の結果と考える。④ア1千㎡程度だ。⑤候補地の条件による選択の結果だ。⑥見直しは考えていない。

#### 区営住宅を建設しない方針から増設への転換を 若者・高齢者など所得の少ない方への家賃助成実施を

①区営住宅増設へ方針転換を。②高齢者などへ家賃助成を。③区営住宅を作らない理由に世帯数より住宅戸数が上回っていることなどをあげるが、なぜ高級マンションの再開発に税金を追加するのに区営住宅はつくりたくないのか。防災まちづくり事業部長

①区営住宅は23区でも中位のストック状況にあることなどから増設の考えはない。②新たな家賃助成の考えはない。③再開発事業で建設する住宅と区営住宅は目的を異にするものだ。再開発事業は公共性等を評価し補助支援している。

#### 深刻な生活危機が続くなか、越年できるような緊急対策を来年度の国保料値上げは中止し、値下げを

①年末対策として生活相談などの総合相談窓口の設置を。②区役所休業中にも生活保護申請等に対応できる体制を。③住宅リフォーム助成など緊急経済対策の継続や充実を。④国民健康保険料の算定方法の変更でア来年度はどれくらい上がるのか。⑤保険料が増える方は何%で、最も影響を受ける方は。⑥値上げの影響をどう考えるのか。⑦国保料を値下げし、資格証発行はやめるよう求める。⑧国保事業の広域化方針は撤回し、市区町村国保制度の維持・拡充に取り組みむことを国に求めている。区長 ①各所管課が連携をとっていることなどから、設置する考えはない。②既に必要な体制を整えている。③予算編成の中で検討する。健康福祉事業部長 ④ア一人当たりの単純月額換算で1千100円から1千600円程度だ。⑤約25%で被扶養者の多い世帯などだ。⑥一定額以上増の方々に経過措置を設ける等の対策をする。⑦資格証発行は公平性等の観点から適正に運用する。⑧国が十分な財政責任を果たすよう要望している。



原 浩三 議員 (自民)

#### 品川区の教育委員会の理念について

①今や580を超える区市町村に広がりを見せる小中一貫教育や教員の独自採用などの施策は、すべてにおいて理念と整合性がとれているものか。②国や都の教育機関との連立性は保たれているのか。③小中一貫教育にスポットが当たっているが、少子化していく今日、単独校は将来も存続できるのか。その将来性については。

④選定方式も多岐にわたっているのが実情だが、どのように考えるか。⑤公募によるプロポーザル方式が選定方法の基本だが、区民にとって良くないケースもあるのでは。⑥指定管理者制度の名目のもと区の職員数が減らされていると耳にするが事実か。

#### 企画部長

①基本は公募によるが、施設設置目的など特別の理由がある場合には特定の事業者を選定できる規定だ。②事業者の募集、受付、審査を経て選定し、議会の議決を経た上で決定するという手続だ。③89施設中6施設、67%の割合だ。④公募によらず選定することも可能で、要件は指針で定めている。高齢者施設で運営面の連続性が必要とされている場合などは、引き続き指定することが適切と考える。⑤民間事業者の能力やノウハウを活用し、区民サービスの向上と経費削減等を図るもので、職員数の削減自体を目的に実施しているものではない。

#### 品川区の指定管理者制度について

①よほどの事由がない限り、基本的に5年ごとに同一の指定事業者が選定されるのか。②選定のプロセスは。③指定管理者の所在地が区外の割合

#### 品川区の総合評価方式について

①簡易型総合評価方式により、公共工事や公共施設維持管理業務委託などが行われているが、その基準は適正な

か。②入札参加各企業等に点数を伝える開示方法で必要十分なのか。③簡易型プロポーザル方式の連関からしても新規参入がしにくいのでは。④契約事務に関する情報の公開実施について、要綱や基準の古いものは見直しや廃止を考えたほうがよいのでは。

#### 品川区の高齢者に対する介護・支援を含む対策や居住環境などについて

①八潮南中学校跡や旗の台の民間型、大井林町の区立型の高齢者施設等が計画されているが、現況と今後の動向は。②なぜ今、区立型なのか。区長 ①特養ホームの整備が第1の柱、第2の柱がケアホームやグループホームなどだ。大井林町の住宅は介護事業所も併設した、新しいタイプの高齢者住宅となる。②行政の責任などを考えて区立を基本とした。それぞれの施設にふさわしい手法を適用していく。

#### 採択し、報告を求めた請願について

平成22年第2回定例会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

#### 子宮頸がんから女性を守ることを求める請願

1 子宮頸がんワクチン接種費用の公費負担などの制度の創設について  
本請願の採択を受け、他自治体および国の動向を見守りつつ、ワクチン接種に関する検討を進めてまいります。

このたび、本請願の趣旨を踏まえ、第3回定例会において、本ワクチンの接種費用一部助成に関する補正予算を計上したところでございます。

2 子宮頸がん検診の充実について  
平成21年度の子宮がん検診受診率は24%、20年度の18%から大幅に受診者が増加してきています。

今年度は、個別通知にさらに普及啓発用リーフレットを追加し、送付物もイメージアップを図るなど一層の受診率アップに力を入れています。また、他のがん検診とのバランスも考慮し、効果的ながん検診の実施に努めてまいります。